

滋賀銀従組・同年金者部会・さざなみネット

2018年合同旗開き



『いよいよ実現する時』と強調。年内の国会発議を目指し議論を加速させる構え

和田一郎部会長の挨拶

今年は憲法を改憲させるか否か
正念場の年です。

安倍首相は1月4日の年頭の記者会見で「今年は日本国憲法のあるべき姿を国民に示し、論議を深めたい」と改憲への意欲を強調しました。そして1月22日改めて自民党の両院議員総会で『いよいよ

和田
べき姿

た。

べき姿』なのか。
『自民党の皆さんよ、安倍総理よ、
しつかり頭を冷やしてこの国の進むべき道を示そうではないか』と訴えまし

国家間の揉め事の解決に武力を使用しない。その為戦争という武力を放棄することを高らかに謳つたのです。この憲法の他にどんな憲法が『ある

日本国憲法第九条、武力の不保持、
戦争の放棄を戦争での貴い多くの命の
犠牲の上に、宣言した世界の宝といわ
れる日本国憲法を施行したのです。

日本国憲法のあるべき姿とは、七十年実践してきた現憲法なのだ。その他のどんなものがあるのか！

あるべき姿を示すと云う首相のことをどう受けとめるのか。

1月23日夕、大津市内において滋賀銀行従業員組合、同年金者部会、さざなみネットの役員11名による「2018年合同旗びらき」が開催されました。旗びらきは、小原執行委員の司会で開会され、乾杯の発声とはじめの挨拶

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

は年金者部会の和田部会長がされました。（左枠囲み）

への日頃の支援に感謝の意をのべ、「昨年の11月で北海道拓殖銀行や山一証券の破綻から20年になり、今年は、リーマンショックから10年と言う節目の年になる。」

『金融』に移り、金融も
『国内』から『国外』に軸
足が移つていった中での20
年10年が過ぎてしまつたの
である。その上に立ち金融
の規制強化が言われたが、

に立ってどうするのかが
これから組合の課題であ
る。」と挨拶をされました。
その後は、賑やかに和や
かに懇談をしました。



2018年 横びらき

リストラへの反撃が課題



